

<他機関との連携活動>

JICA草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）

カンボジア国「カンダルスタン郡の衛生教育改善のための学校保健体制の構築プロジェクト」

（実施期間2017.2.28-2020.2.27）

本学が2017年2月より香川県と共同で実施してきた標記プロジェクトはいよいよ終盤を迎えました。今期は2019年12月、日本の学校健康診断を紹介するために本学教員が現地に出張し、カンボジア教育青年スポーツ省、保健省並びに健康科学大学（University of Health Science）の全面的な協力のもと、内科検診と歯科検診のデモンストレーションを行いました。プノンペン市内の私立学校の児童と本プロジェクトの対象地区（首都から車で1時間）カンダール州カンダルスタン郡の児童との身長と体重を比較したところ、統計学的有意差が認められ、地方の子どもの発達に影響を及ぼす栄養の問題や歯磨き指導の技術的な問題も指摘できました。（本プロジェクトと医療技術等国際展開推進事業との共催）

また、小学校向けの保健テキストについても英語版・クメール語版の印刷を完了し、教育省に寄贈しました。カンボジア教育青年スポーツ省は、これを政府認定学校保健テキストとし、3月22-24日に予定されていた全国教育会議で香川大学から紹介する予定でしたが、生憎、新型コロナウイルスのために会議が延期となりました。しかし、学校現場における今後の活用が期待されます。

さらに、学校にトイレや手洗い場がないという状況を改善するため、草の根技術協力予算に加えて、本学が独自にクラウドファンディングを行って集めた資金も用いて、域内の3校にトイレ、手洗い場を建設していましたが、全て完工し学校に引き渡されました。

2020年2月4日（火）、現地にて本プロジェクトの閉講式が実施され、3年間に亘る本学の取組が終了しました。本プロジェクトについては、学校現場における衛生教育の改善に大きな効果があったとカンボジア教育青年スポーツ省が高く評価しており、閉講式において同省のキム・セタニー長官より謝意が表されました。



内科検診のデモンストレーション



歯科検診のデモンストレーション



トイレ掃除をする児童



完工した新しいトイレの前で。男子と女子のトイレを分ける為、新しいトイレの入口の扉はピンク色に塗られています。



歯磨きを実践する児童



2020年2月4日に行われた本プロジェクトの閉講式にて